

# まちづくり

No. 88

社会福祉法人 広島市中区社会福祉協議会 / 平成28年7月 発行

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目1番1号 大手町平和ビル5階 Tel.082-249-3114 FAX.082-242-1956 Eメール naka@shakyohiroshima-city.or.jp



## ほのぼのの基町健康体操 & 花クラブ



基町地区社会福祉協議会では、拠点の「ほのぼのの基町」で、毎週水曜日10:30から健康体操を開催しています。取材日の参加者は29名で、初めての方が3名でした。

**健康体操**は、椅子に座って行う体操が中心ですが、参加者からの意見も取り入れながら運営しています。

皆で歌うテーマソングの作詞や、スタンプを押す係やお手玉を配る係といった役割を参加者に担ってもらい、皆で運営する健康体操になっています。

4月からは参加者の提案で「スタンプカード」を作り、全20回参加した方には景品がもらえるという楽しみを増やしたそうです。景品は袋とお手玉ですが、縫い物が得意な参加者が作っています。また、スタンプカードを作ったことにより参加者の見守りにも繋がっています。

参加された方からは、「たまたま通りがかり、楽しそうな声が出ていたため参加をしてみました。体操やおしゃべりをして元気になった！また参加したいです！」と笑顔で話していただきました。

毎回、参加者でサロンが一杯の状態ですが、手と手が触れ合う距離感が心地良い雰囲気になっています。ボランティアの方からは健康体操が生活の一部となり、継続して定着していけば良いと言わ

れています。取材を通して、参加者、ボランティアの笑顔や笑い声が絶えない時を過ごせる空間であると感じました。

**ほのぼの花クラブ**は5年前から年4回開催され、四季折々に合わせた花を植えています。

園芸は脳の活性化になることや花作りを通して育てる楽しみと参加者やスタッフとの交流を図ることでリフレッシュもかねて開催しています。

当日の参加者は45名と市立大学の学生さんが「こくばんカフェ」というお茶の配布ボランティアで参加されていました。花植えの手伝いもされており、基町地区と繋がりを持てたら良いと言われていました。



# 神崎ウォークラリー

平成28年4月24日(日)、神崎学区社会福祉協議会主催の第1回神崎ウォークラリーが開催されました。

これは地域住民の健康づくりや世代間交流を通じて地域を知ること、そして災害時避難経路の確認等を目的に、江波地域包括支援センターの協力のもと企画されたものです。

河原町公園に集合し、その近隣でスタコラサッサの部(一般:約6キロコース)、ノンビリポッコの部(未就学児等:約1キロコース)に分かれて、子どもから高齢者まで総勢127名がコースを歩きました。

当日は天候にも恵まれ、コース上のチェックポイントでは地域の歴史的な場所や、サロン会場等の福祉拠点も織り交ぜながら、趣向を凝らしたゲームやクイズを気持ちよく楽しむことが出来ました。

色々な場所をまわり、地元の方も新鮮な気持ちで地域を見る機会となったのではないのでしょうか。

車椅子で参加されていた方をはじめ、本当に多くの世代の方々の姿や、子ども達の笑い声等、終始にぎやかで楽しい雰囲気印象的でした。



## ★ 賛助会員にご加入お願いいたします ★

～地域の福祉活動費として還元されます～

本会では住み慣れた地域で安心して暮らしていける「福祉のまちづくり」の実現に取り組んでいます。

お寄せいただきました賛助会費のうち、1/2は地区(学区)社協が行っている「ふれあい・いきいきサロン」などの地域に密着した活動に、もう1/2は本会が行っているボランティア活動の推進などの福祉事業に活用させていただいています。

会費 一口(年間) **3,000円**

**【加入方法】**個人、団体、企業様等どなたでもご加入いただけます。

●払込手数料不要の払込取扱票がありますので、お住まいの地区社協役員または、本会(249-3114)までご連絡をお願いいたします。

平成27年度 賛助会費実績額 **974口 2,933,000円**

昨年度は皆さまのご協力とご理解により、多くの方にご加入いただくことができました。ご協力いただきました皆さまに深く感謝申し上げます。

## 赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました。

平成27年度、広島市共同募金会中区分会では、「自分の町を良くするしくみ」をスローガンに募金活動を実施し、総額 **8,025,284円**の募金をいただきました。

お寄せいただきました募金は、子どもや障がいをお持ちの方、高齢者等の交流活動など、みなさんの住むまちの地域福祉活動に活かされます。

平成27年度 共同募金実績額 **8,025,284円**

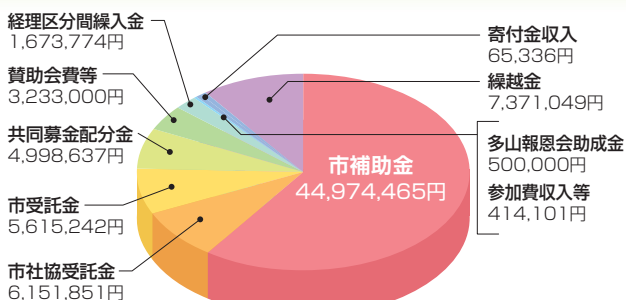
【内訳】 戸別募金 / 5,765,916円 | 職域募金 / 502,406円  
街頭募金 / 42,034円 | その他 / 86,576円  
法人募金 / 1,628,352円

## 寄附

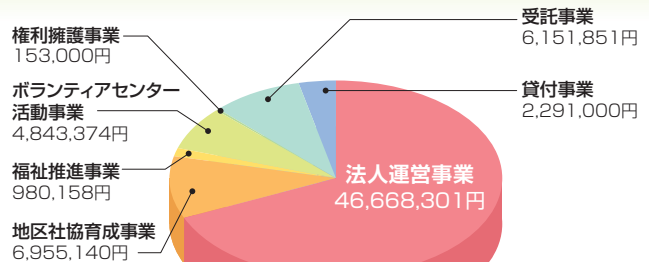
あたたかいご寄附ありがとうございました。皆様からのご寄附は、福祉のまちづくりの推進のために、大切にさせていただきます。(平成28年3月12日～平成28年5月31日現在)

【一般寄附】匿名 7名 【物品寄附】匿名 1名(車椅子)

## 平成27年度 決算



【収入】(合計 74,997,455円)



【支出】(合計 68,042,824円)

次年度への繰越 ▶ **6,954,631円** (災害準備金 1,000,000円を含む)

# 第10回 あなたのまちの 元気さん 紹介

今回の元気さん

広島市認知症地域推進  
支援員(中区担当)

岡田 真理さん



## どのような活動をされていますか？

活動には大きく4つの柱があります。1つ目は認知症という病気について、介護の立場から医療への橋渡し役。2つ目は認知症の切り口で地域包括支援センターや介護支援専門員の後方支援をすること。3つ目は若年性認知症の方とご家族の支援や相談を受けること。4つ目はその方が地域で暮らしていけるように、地域の支援体制を作ることや啓発活動をすることです。医療や介護の力だけでは支えきれないこともあり、地域の力は必要となっています。特別なことをするのではなく、それぞれができることを行い、それが積み重なっていくことで支え合いができるのではないかと思います。

## 今の活動をはじめられたきっかけはなんですか？

最初は、医療と介護の連携が目的でした。医療は医療で、介護は介護でそれぞれに頑張っているけれど、なかなか情報共有ができていないということがありました。現在では、市をあげて多職種で顔をあわせる会議も開かれるようになり、医療と介護の連携がスムーズになりました。結果的

にご本人やご家族への支援に繋がっていると感じています。

## 活動をしていて嬉しかったことを教えてください。

この仕事を始めて1~2年目の時、認知症の方のゴミ捨ての問題に地域包括支援センターと共に取り組んだ際に、地域の方々がそれぞれにできることを行い、繋がることで解決したケースがありました。相談した町内会の方から老人クラブへと繋がり、児童の登校を見守る活動のついでにゴミを捨ててくれることになったのです。町内会の方が「自分の時も頼む」と言われたことが、とても印象的でした。地域には繋がっていくことで、すごい資源があると思います。

## 活動する中で心掛けていることはありますか？

相談を受ける際には、ご本人、ご家族の困っていること以外に、元気な時はどのような方だったのか、趣味や好きなことなど、ご本人が活躍されていた時の話を意図的にお聞きするようにしています。ご本人は認知症であることへの自覚がなかったり、プライドがあります。ご本人やご家族の思

いを汲むためにも双方からの理解をするように心掛けています。

## 活動を続けるコツはなんですか？

この仕事は、とてもやりがいがあります。病院や施設などにいると見えないことが、地域に出ることで見えてきて、勉強になります。

## 最後に、今後の目標や抱負をお願いします！

認知症地域推進支援員は平成23年から25年までは広島市で1人でしたが、26年からは各区に配置になったので、中区に深く関わられるようになりました。これからも気軽に声をかけてもらって、認知症のご本人やご家族、関係者、地域など、みなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

😊 岡田さん、ありがとうございました。



## 認知症カフェをご存知ですか??



認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉などの専門職が気軽に集まり、介護の情報交換や相談のできる『認知症カフェ』が地域に出来はじめています。

「認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)」の中では、「認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場」と定義されています。

『認知症カフェ』は地域の人と家族が安心して過ごせる場であることはもちろん、若年性認知症や認知症の初期など、的

確な支援を必要としている人に対しても、相談支援を行っています。

一般的に『認知症カフェ』という名称を使っていないのは、認知症の自覚症状がない人にも行きやすくするためです。認知症の症状に理解のある人の集まりであるため、高齢者のいきいきサロン等では言えないことも安心して言える環境となっています。

地域ぐるみで支えていくカフェが今後も増えていくことが期待されています。



# ボランティアセンター通信

## ★ボランティア広場

～わくわく、どきどき、ボランティア体験～

ボランティアに関心のある方、何かはじめてみたいと考えている方、ボランティア広場に参加してみませんか？

子どもたちと遊んだり、障がいのある方や高齢者との触れ合いや、お祭り等や行事のお手伝いなど活動先は様々です。

年間を通して活動を計画しているので、ご自身の都合に合わせた活動でも大丈夫です！

たくさんのご参加をお待ちしています。

今年度も開催！  
参加者募集中！



28年度の日程が決まりました！11月以降の予定はお問合せください♪

月	日時	内容	場所
7月	7月23日(土) 10:00~12:00	●オリエンテーション●ボランティア広場について	中区地域福祉センター
8月	8月20日(土) 10:00~13:30	●レクリエーション「活動に向けての話し合い」など	中区地域福祉センター
	8月23日(火) 11:00~15:30	●児童館で遊ぶ♪	袋町児童館
	8月27日(土) 9:00~15:00	●作業所まつり♪	もみじ作業所
	8月28日(日) 予定 9:00~15:00	●夏祭り♪(高齢者施設での行事のお手伝い)	メディカル・ケアセンター絆
9月	9月10日(土) 時間未定	●個人ボランティアとの交流●まつりに向けて！	中区地域福祉センター
10月	10月22日(土) 9:00~15:30	●なかくボランティアまつり	中区地域福祉センター

※上記の活動日時、内容等は変更となる場合があります ※参加は随時受付をしています

対 象 中学生・高校生・専門学校生・大学生等の25歳までの方(住所は問いません)

参加費 300円(ボランティア活動保険代として) ※この他に一部実費をいただく場合もあります

参加者の声



最初1人で参加したので不安もあったのですが、レクやお話など和気あいあいとした雰囲気があったので参加しやすかったです。活動先のスタッフの方も親切なので安心して楽しく活動できました。(高校生)

いろいろな人と関わることができ、社会的になれました。人と関わることがボランティアの魅力だと思います。(大学生)



### ご紹介

#### ボランティアサロン「和会(わかい)」

「和会」は、個人で活動されているボランティアの方が情報交換や交流できる同窓会です。毎月第2火曜日の13:30~15:30に活動しています。自分たちのボランティア活動を紹介したり、参加するボランティアが講師となって、絵手紙やラベンダースティック作りなどの体験を行ったりもしています。最近では、手芸が得意なボランティアが集まって「手芸部」が結成されました！

また、「和会」では、ボランティア活動をされている方、何か始めてみたいと思われているとの方の出会いを応援しています。



ボランティアを講師に、紙バンド作りを行いました。

### 予告

第20回

#### なかくボランティアまつり開催！

今年も中区地域福祉センターを会場に「なかくボランティアまつり」を開催します！今年は記念すべき20回目の開催となります。ステージ発表や福祉体験コーナーなど盛りだくさんの予定です。内容については現在企画中です。是非みなさんと盛り上げていきましょう。

日時 平成28年10月22日(土) 10:00~14:30

場所 中区地域福祉センター5階 ほか

#### 講座を企画中です！

新しく始まる介護保険の「介護予防・日常生活支援総合事業」についての講座を予定しています。詳細が決定し次第、ご案内いたします。

社会福祉法人 広島市中区社会福祉協議会/ボランティアセンター  
〒730-0051 広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階  
TEL.082-249-3114 FAX.082-242-1956  
✉ naka@shakyohiroshima-city.or.jp http://shakyo-hiroshima.jp/naka/

